

エタネルセプトBS皮下注「日医工」を
若年性特発性関節炎の治療で使用される方へ

自己注射手順ガイドブック

正しく安全に自己注射するために

はじめに	1
注射する部位	2
エタネルセプトBS皮下注シリンジ「日医工」について	3
注射の準備	4
注射のしかた 腹部(おなか)投与の場合	
補助具を使用しない場合	5
補助具を使用する場合	9
保管方法と廃棄	14
注射の記録・体調管理	15
専用廃棄ボックスの使い方	16
よくあるご質問	17

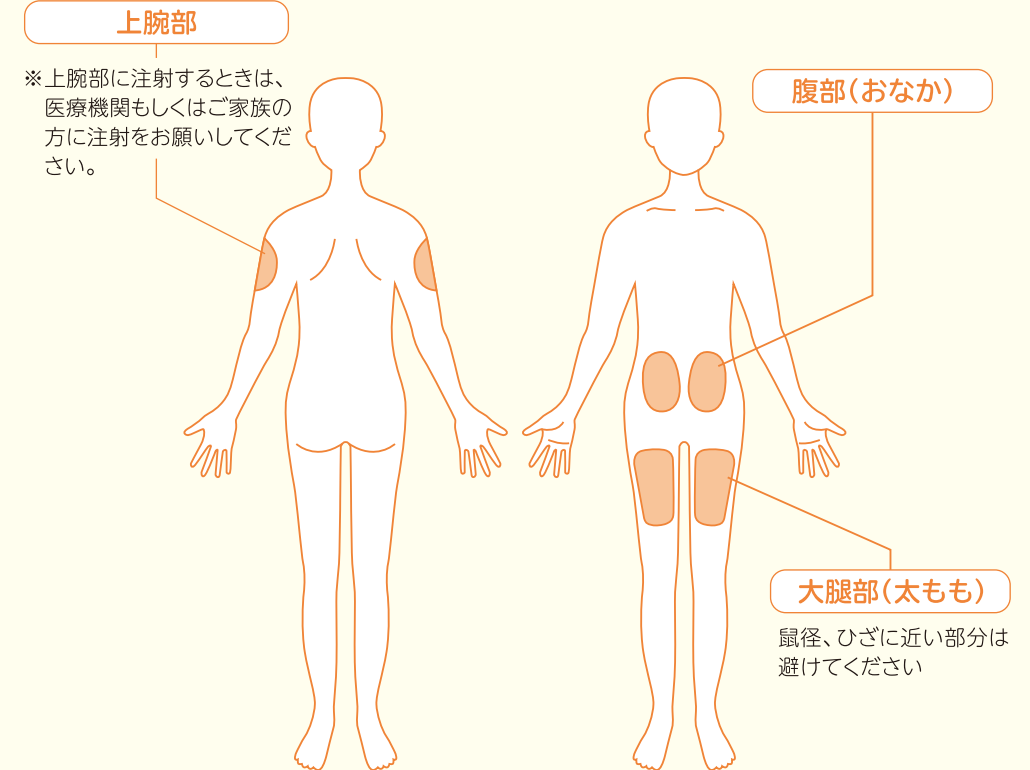
監修

学校法人 聖マリアンナ医科大学
リウマチ・膠原病・アレルギー内科
国立大学法人 東京科学大学
国際医工共創研究院 生涯免疫医療実装講座
教授 森 雅亮 先生

注射する部位

注射する部位は腹部(おなか)、大腿部(太もも)、上腕部です。
注射する部位は主治医の指示にしたがってください。

皮下注射に適した部位



- 患者さんご自身が注射する場合は、腹部(おなか)、大腿部(太もも)に注射してください。
- ご家族の方が注射する場合は、上腕部も可能です。
- 赤くなっていたり、傷があったり、硬くなっているなど皮膚に異常がある場所に注射しないでください。
- 前回注射した部位と違う部位に注射してください。同じ部位に注射する場合には、前回の場所より少なくとも3cm以上離してください。
- 注射した部位を覚えておくために、必ず治療日誌に注射日と注射した場所を記録してください。

はじめに

エタネルセプトBS皮下注「日医工」は、若年性特発性関節炎の痛みや腫れ、関節破壊に関係しているTNF(ティー・エヌ・エフ)の働きを抑えるお薬です。主治医の指示に従い、忘れず自己注射することで効果を発揮します。

このガイドブックはエタネルセプトBS皮下注「日医工」の自己注射のしかたを解説したものです。患者さんやご家族の方々にエタネルセプトBS皮下注「日医工」を正しく安全に自己注射していただくための手順とポイントを解説しています。はじめは医師もしくは看護師と一緒に注射方法を練習していただき、慣れたら自己注射へと移行します。

このガイドブックをお読みいただき、自己注射についてわからなかったり、少しでも不安を感じた場合は、主治医もしくは看護師にご相談ください。

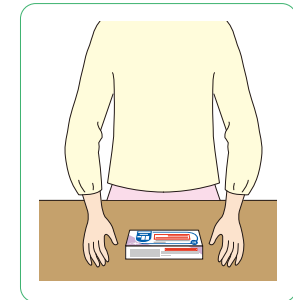
エタネルセプトBS皮下注「日医工」を自己注射する時の主な注意点

- 自己注射について少しでもわからないことがあれば主治医もしくは看護師にご相談ください。
- 風邪のような症状があったり、気分が悪かったり、体調に気になることがあれば、自分で判断せず、主治医に相談して注射の可否を確認してください。
- 注射の後に体調が悪くなったり、気になる症状が出た場合には、すぐに主治医にご相談ください。
- 自己注射を開始後でも、通院での注射を希望される場合や、うまく自己注射できない場合は、主治医にご相談ください。通院での注射に切り替える場合があります。

注射の準備

① 注射する15～30分前に冷蔵庫からシリンジの箱を取り出し、室温に戻します。

- シリンジは箱に入れたまま、室温で平らな場所に置きます。
- ・シリンジを電子レンジや湯せんで温めないでください。
 - ・シリンジを振らないでください。
 - ・子供の手の届かないところに置いてください。
 - ・置き忘れに注意してください。

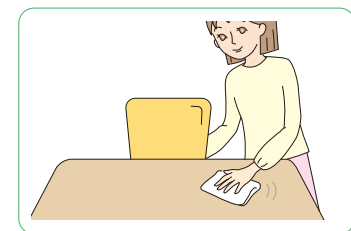


箱に記載されている使用期限を確認します。
 ・使用期限が切れたお薬は使用しないでください。
 このような場合は主治医もしくは看護師にご連絡ください。

エタネルセプトBS皮下注シリンジ「日医工」には、10mg製剤と25mg製剤の2種類があります。主治医の指示に従って、間違いがないか確認してください。

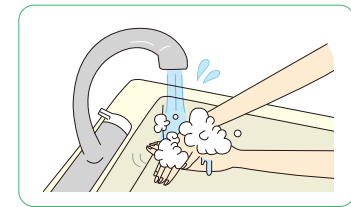
② 自己注射するための場所を準備します。

明るく平らな場所を選び、十分な明るさを確保します。
 置き場所の表面を清潔にします。



③ 両手を石鹸で十分に洗います。

手洗いは清潔なタオルなどで水気を十分拭き取ります。

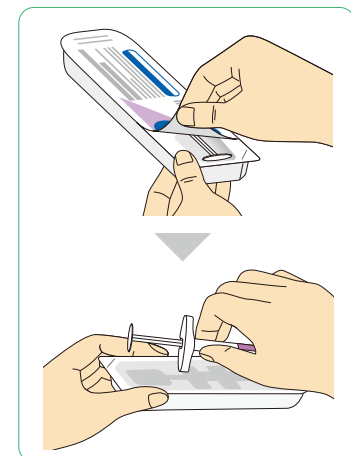


④ シリンジをケースから取り出します。

〈シリンジの開封方法〉

1. 外箱からケースを取り出します。
2. ケースのプリスター包装をはがします。
3. ケースからシリンジを取り出します。
4. シリンジ本体を確認します。

- シリンジを誤って落とさないよう注意してください。落下は破損の原因となります。
- シリンジが破損していたり、薬液に異物や変色など異常がある場合は、使用せずに主治医もしくは看護師にご連絡ください。



エタネルセプトBS皮下注シリンジ「日医工」について

エタネルセプトBS皮下注シリンジ「日医工」の各パーツの名称と取り扱い注意事項を確認してください。



- 内筒を押すと薬液が出ます。
 (注射する時まで絶対に内筒を押ししたり、引っ張ったりしないでください。)
- 針を刺す際は、つばもとの下の外筒を持ちます。
- 針キャップは、注射の準備ができるまで外さないでください。

注射のために必要なもの

シリンジ用補助具



アルコール綿



※アルコール綿にアレルギーのある方は代替品を使用する場合があります。

ばんそうこう



(必要に応じて)

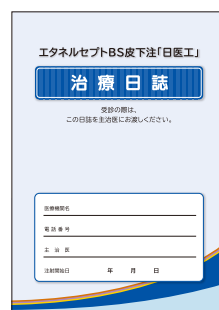
セッティングシート(シリンジ用)



廃棄ボックス



治療日誌

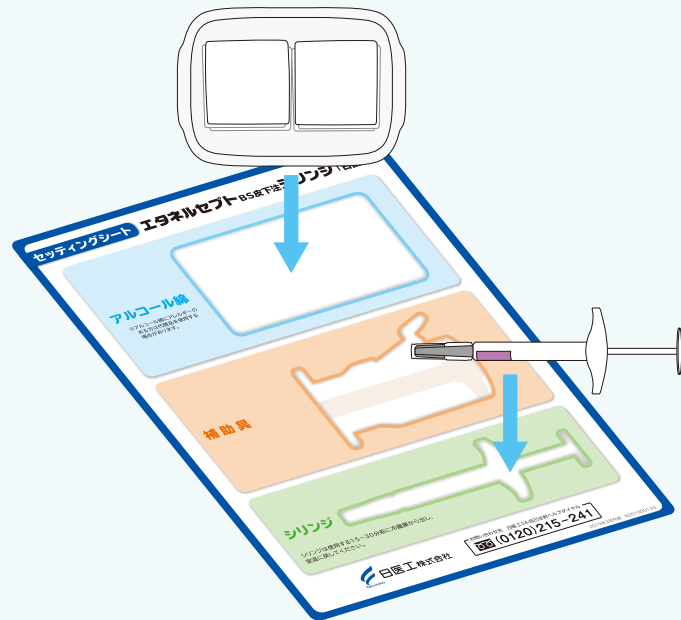


補助具の注意事項

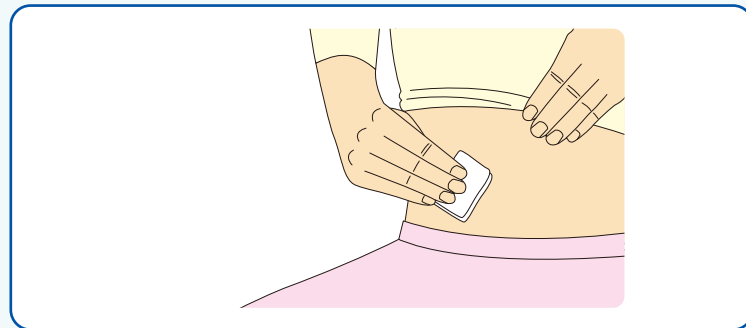
- 補助具は繰り返し使用できますが、不具合がある場合は主治医に相談してください。
- エタネルセプトBS皮下注シリンジ「日医工」以外のシリンジには使用しないでください。

注射のしかた〔補助具を使用しない場合〕

- 1 室温に戻したシリンジとアルコール綿をセッティングシートの上に置きます。

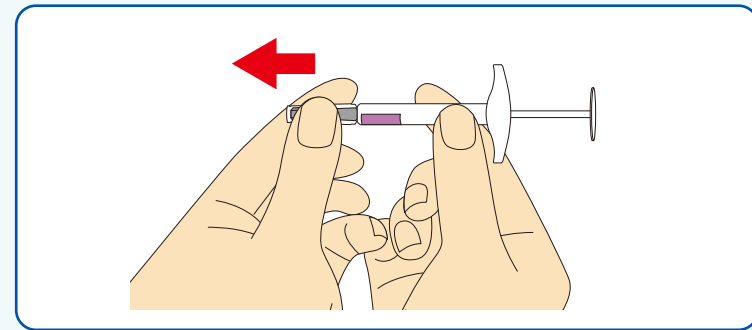


- 2 アルコール綿で注射する部位とその周辺を広めに消毒します。



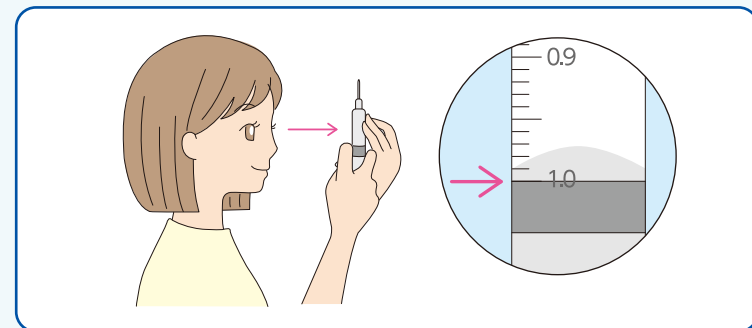
- 注射するまで消毒した部位に手を触れないよう注意してください。

- 3 針キャップをまっすぐに横に引っ張って外します。



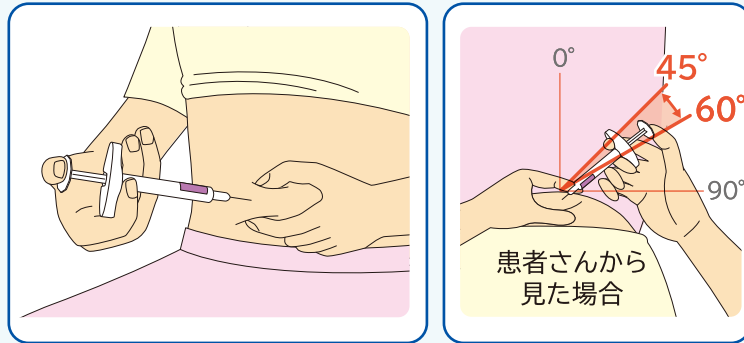
- 内筒を引っ張ったり、押したりしないでください。
- 針キャップを斜めに外さないでください。(針が曲がる可能性があります。)
- 針に手や他のものが触れないようにしてください。
- 薬液が1、2滴漏れることがありますが差し支えありません。
- シリンジ内に多少の気泡が残っていても、皮下注射なので差し支えありません。

- 4 注射用量を調節します。



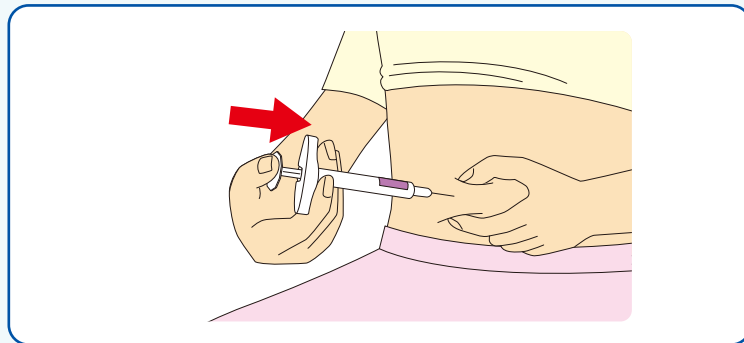
- 薬液が注射針の先から出ますので、受け皿を用意してください。
- 注射針を上に向けた状態で、内筒を押し、中の気泡(空気)を抜きながら指示された薬液量になるまで押し続けます。このとき、薬液が手についても問題ありません。薬液が手についた場合は、水で洗い流してください。
- 薬液量と目盛りの合わせ方
シリンジの目盛りと目の高さを合わせ、内筒の先端のグレーのゴム部分の上部を指示された薬液量の目盛りに合わせてください。

5 注射針を刺します。



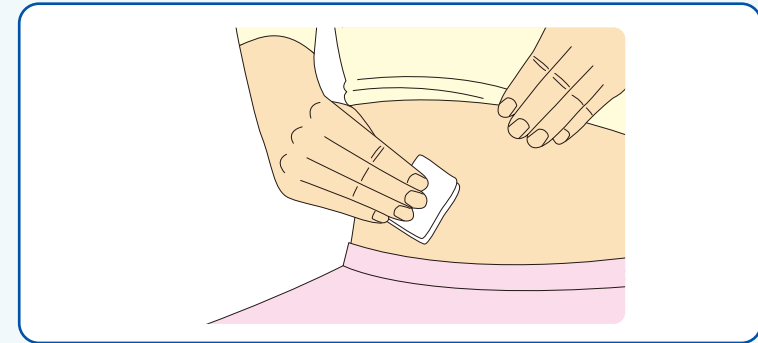
- 消毒した部位の皮膚をしっかりとつまんで、注射針を45～60°の角度で刺します。

6 薬液を注射します。



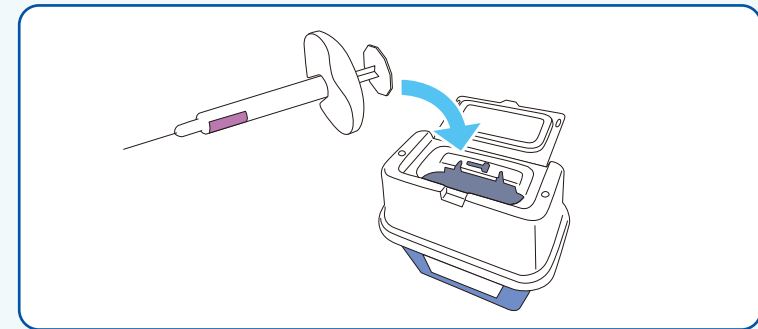
- シリンジをしっかり持ち、注射針を刺した時と同じ角度のまま、ゆっくりと内筒を最後まで押し切ります。

7 注射針を抜いて、アルコール綿で約10秒ほど押さえます。



- 注射針を刺した時と同じ角度のまま、注射針を皮膚から抜きます。
- 注射部位をもむと腫れることがありますので、もまないようにしてください。
- 腫れや出血が収まらない場合は、主治医にご連絡ください。

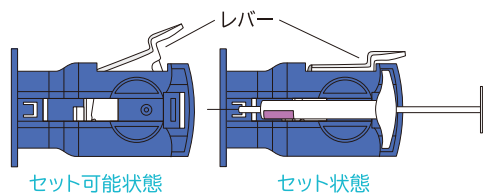
8 注射終了後、シリンジを廃棄します。



- 使い終わったシリンジは、分解したり、再利用せずに、取り扱いに十分注意して、すみやかに廃棄ボックスに入れます。

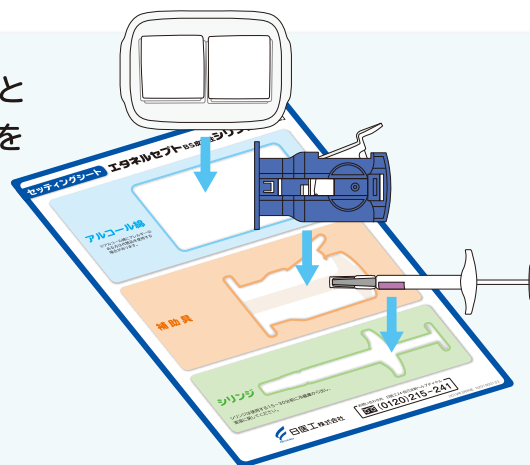
注射のしかた【補助具を使用する場合】

補助具について

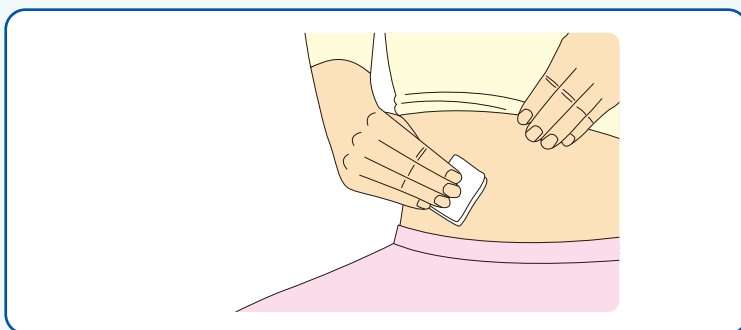


この補助具は、正しく安全に自己注射していただくためのサポート器具です。シリンジを補助具にセットすることで、皮膚に刺した時の注射針の長さが一定になり、皮膚接着面が増えるため安定して注射を行うことができます。

- 1 室温に戻したシリンジと補助具、アルコール綿をセッティングシートの上に置きます。

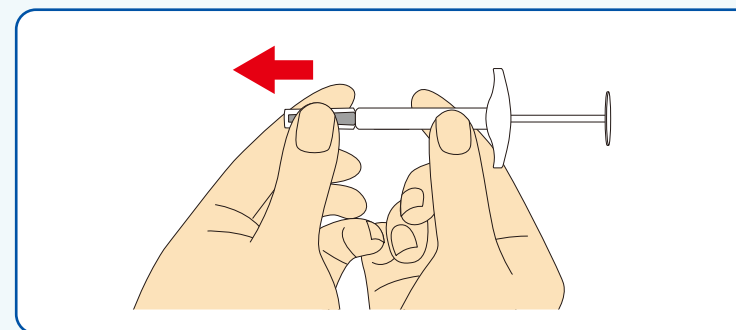


- 2 アルコール綿で注射する部位とその周辺を広めに消毒します。



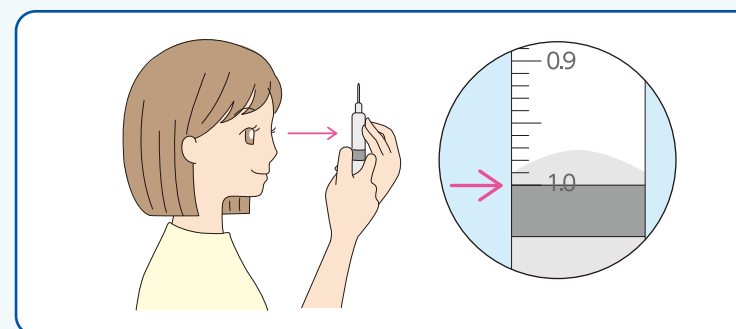
- 注射するまで消毒した部位に手を触れないよう注意してください。

- 3 針キャップをまっすぐに横に引っ張って外します。



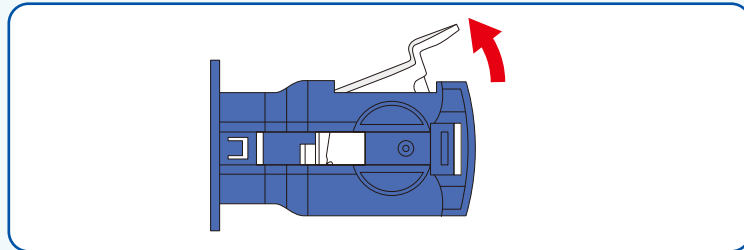
- 内筒を引っ張ったり、押ししたりしないでください。
- 針キャップを斜めに外さないでください。(針が曲がる可能性があります。)
- 針に手や他のものが触れないようにしてください。
- 薬液が1、2滴漏れることがありますが差し支えありません。
- シリンジ内に多少の気泡が残っていても、皮下注射なので差し支えありません。

- 4 注射用量を調節します。



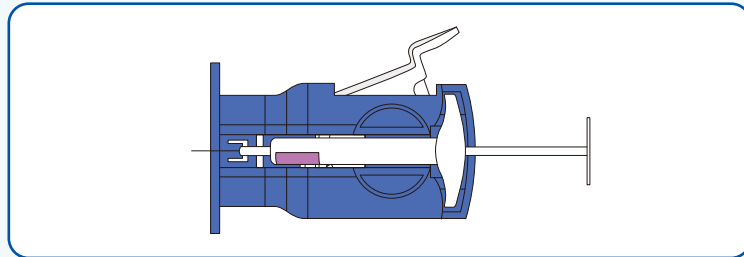
- 薬液が注射針の先から出ますので、受け皿を用意してください。
- 注射針を上に向けた状態で、内筒を押し、中の気泡(空気)を抜きながら指示された薬液量になるまで押し続けます。このとき、薬液が手についても問題ありません。薬液が手についた場合は、水で洗い流してください。
- 薬液量と目盛りの合わせ方
シリンジの目盛りと目の高さを合わせ、内筒の先端のグレーのゴム部分の上部を指示された薬液量の目盛りに合わせてください。

5 補助具のレバーを開けます。



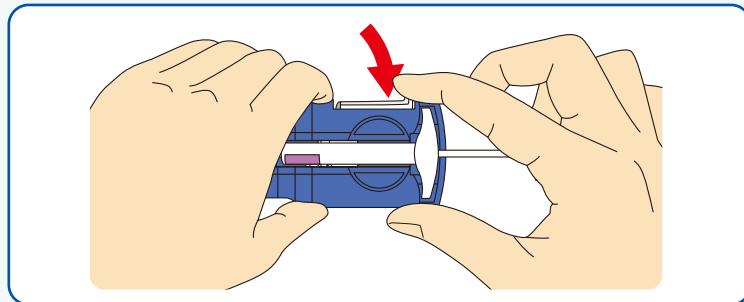
- レバーが閉じている場合は、シリンジをセットすることができません。

6 シリンジを補助具にセットします。



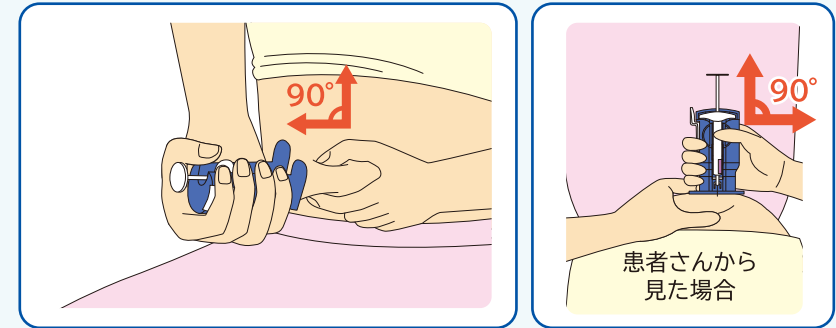
- 内筒部分を持ってレバー側の溝につばもとを置きます。
- セットする前にシリンジのつばもとを持って外筒を回すと、隙間から薬液が見えるよう調節できます。
- 注射針を指に刺さないように注意してください。

7 レバーを矢印方向に閉めるとシリンジが固定されます。



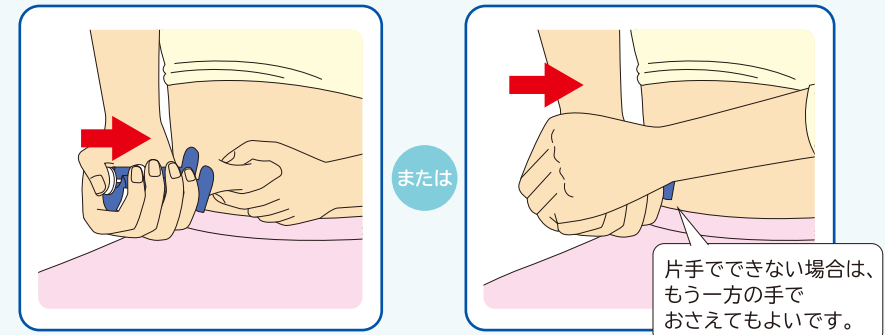
- 両端を上から手で押さえレバーを閉めます。
- 針に手や他のものが触れないようにしてください。

8 注射針をまっすぐ刺します。



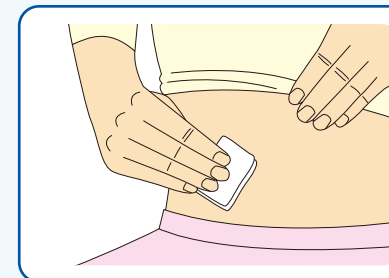
- 消毒した部位の皮膚をつまんで、補助具の底面が皮膚に密着するまで、まっすぐ注射針を刺します。

9 薬液を注射します。



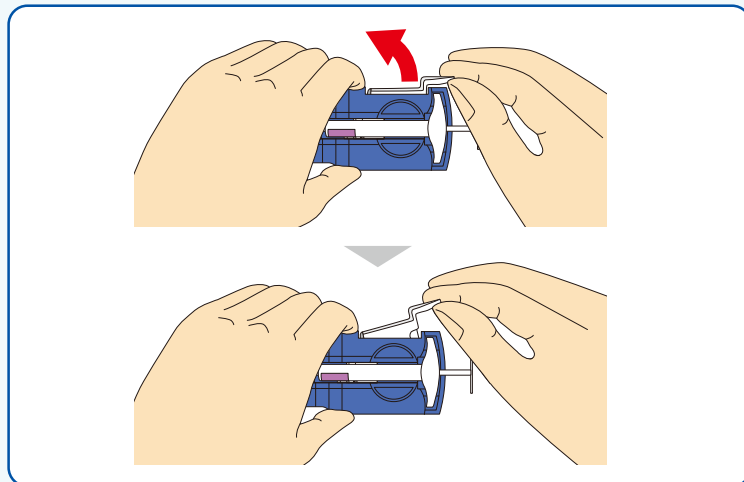
- 補助具をしっかり持ち、ゆっくりと内筒を最後まで押し切ります。

10 注射針をまっすぐ抜いて、アルコール綿で約10秒ほど押さえます。



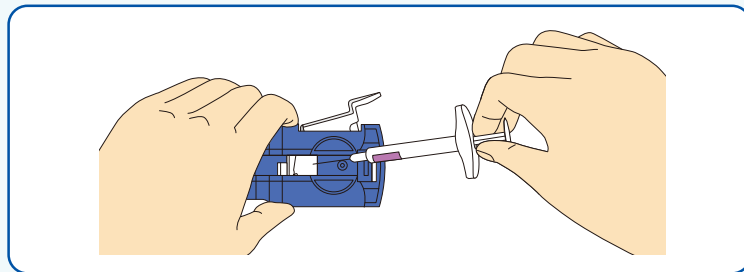
- 注射針を刺した時と同じ角度のまま、注射針を皮膚から抜きます。
- 注射部位をもむと腫れることがありますので、もまないようにしてください。
- 腫れや出血が収まらない場合は、主治医にご連絡ください。

11 補助具のレバーを開けます。



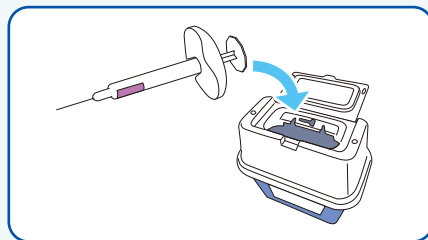
- レバーを開けると、シリンジを取り出すことができます。
- 注射針を指に刺さないよう注意してください。

12 シリンジを補助具から取り出します。



- 取り出したシリンジにキャップしないでください。

13 注射終了後、シリンジを廃棄します。

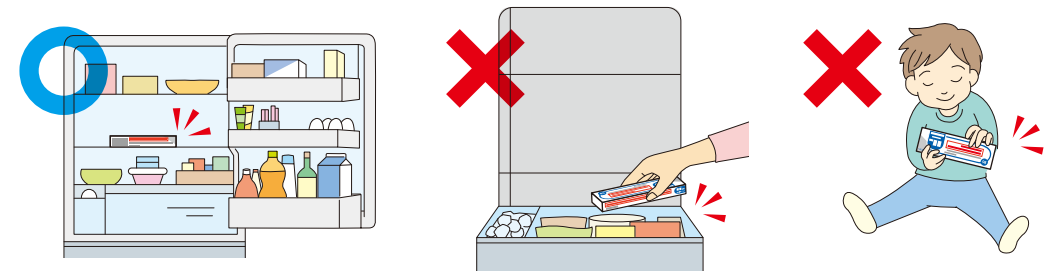


- 使い終わったシリンジは、分解したり、再利用せずに、取り扱いに十分注意して、すみやかに廃棄ボックスに入れます。

保管方法と廃棄

お薬の保管方法

- 医療機関で受け取ったエタネルセプトBS皮下注シリンジ「日医工」は箱ごと必ず冷蔵庫に保管してください。(専用の遮光袋に入れて冷蔵庫に保管してもよいです。)
- 冷凍庫には保管しないでください。
- 凍結の恐れがあるので、チルド室や冷気の吹き出し口の近くに置かないでください。
- 直射日光のあたる場所に放置しないでください。
- お子様の手の届かないところに保管してください。
- ご家族の方にもお薬であることを説明し、ご家族が誤って開封したり、汚したり、捨てたりしないようにしてください。
- 病院からの運搬時や外出時には、保冷バッグを使用してください。



使用済みのシリンジの廃棄

使用済みのシリンジは感染性廃棄物です。
家庭用ゴミとして捨てることはできません。
医療機関から指示された方法で処分してください。



廃棄ボックス

- 使用済みのシリンジは分解したり、再利用せずに、取り扱いに十分注意してください。
- 使用済みのシリンジに針キャップはしないで、すみやかに廃棄ボックスに入れてください。
- 針キャップは家庭用ごみとして廃棄することができます。
- 廃棄ボックスは、お子様の手の届かないところに保管してください。

セッティングシート、補助具が汚れた場合

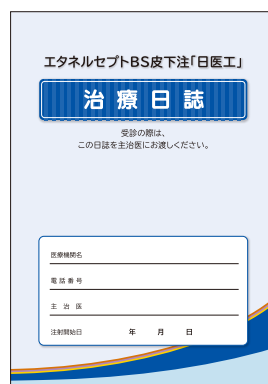
セッティングシート、補助具が汚れたら、アルコール綿で拭くか、ぬるま湯で洗い、よく乾かしてください。

注射の記録・体調管理

注射の記録

エタネルセプトBS皮下注シリンジ「日医工」を正しく安全にご使用いただくために、注射日と注射した場所を治療日誌に記録してください。記録することで、次の注射予定日や注射する場所がわかり、注射を忘れたり、同じ場所に注射したりすることを防ぐことができます。

また、注射前後の体調も忘れずに記録しましょう。自己注射での治療は十分な自己管理が重要です。体調の変化を主治医に報告することで治療に役立てることができます。診療時には治療日誌を必ず持参してください。



注射前の体調の確認と使用中の体調管理について

体調が悪い時は無理に注射せず、主治医もしくは看護師に相談しましょう。エタネルセプトBS皮下注シリンジ「日医工」を使用中に、体調がおかしいと思うことがあれば、すぐに主治医にご連絡ください。特に下記のような症状があらわれた場合は、次の診療日を待たずに主治医にご連絡ください。

- | | |
|---------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 発熱 | <input type="checkbox"/> 全身に発赤が出る |
| <input type="checkbox"/> 咳 | <input type="checkbox"/> 身体がむくむ |
| <input type="checkbox"/> のどの痛み | <input type="checkbox"/> 顔色が青白くなる |
| <input type="checkbox"/> 息苦しい | <input type="checkbox"/> 血圧が下がる |
| <input type="checkbox"/> 身体がだるい | |



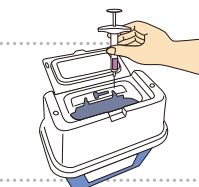
専用廃棄ボックスの使い方

使用方法

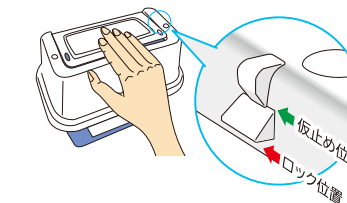
① まず容器にフタを押し込み、廃棄ボックスを組み立てます。その際、四隅がパチッと音がするまで押し込まれたか、横から見てフタが斜めになっていないかを確認してください。一度組み立てると容器とフタが外れなくなります。



② 上フタを起し、注射器の針側を下にして、廃棄ボックスに捨てます。



③ 上フタを仮止めします。仮止めすると、倒しても上フタが開き使用済の注射器が飛び出すことはありません。仮止め状態からさらに上フタを押し込むと、上フタが開かなくなり、それ以上注射器を入れることができなくなります。



④ この仮止め状態で、その都度上フタを開けて注射器を捨てます。使用済の注射器は16本程度捨てることができます。

⑤ 廃棄ボックスがいっぱいになったら、上フタをさらに強く押し込んで完全にロックします。その際は上フタのシールのない淵の部分を押込んでください。廃棄ボックスは医療機関に指示された方法で処分してください。医療機関に廃棄ボックスを持参する場合は、上フタが完全にロックされ動かないことを確認してください。

いっぱいになる前に仮止め状態からさらに上フタを押し込むと、上フタが動かなくなり、注射器を捨てることができなくなるので注意してください。

使用上の注意

- ・使用済注射器は「感染性廃棄物」です。絶対に家庭用ごみとして廃棄しないでください。
- ・使用済注射器は、必ずこの専用廃棄ボックスに入れてください。
- ・お子様の手の届かないところに保管してください。
- ・無理に押し込むなど不適切に使用した場合、針が容器を貫通する恐れがあります。
- ・一度入れた使用済注射器は絶対に取り出さないでください。
- ・この廃棄ボックスを振ったり、逆さまにしたり、落としたりしないでください。
- ・火気に近づけないでください。

よくあるご質問

決められた日に注射できなかった場合はどうすればよいですか？

- ▶主治医に連絡して、指示に従ってください。
あらかじめ決められた日に注射できないことが分かっている場合は、主治医に連絡して指示に従ってください。

注射は何時にすればよいですか？

- ▶注射する時間には特に決まりがありませんが、毎回一定の時間に注射をしましょう。
ご自身の生活のパターンからゆったりとした時間を選びましょう。

体調がすぐれない場合でも、予定通り注射してよいですか？

- ▶ご自身で判断せずに、必ず主治医に連絡して指示に従ってください。

注射したとき痛みを感じるがありますが、どうしたらよいのでしょうか？

- ▶薬液が冷たいと刺激となって痛みを感じる場合があります。まず、薬液が冷たかないか確認してください。通常30分程度室温に置きますが、これは目安ですので、季節や室温の状況に応じて室内に置く時間を長くとってください。

注射の時に薬液が漏れてしまったら、どうしたらいいですか？

- ▶薬液が漏れた場合は、薬液が漏れた量を主治医に連絡して指示に従ってください。

注射の痛みが気になるのですが、どうしたらよいですか？

- ▶皮下脂肪の厚い部位は、痛みが少ないと言われています。
また、注射する部位の感覚を鈍くするために、氷や保冷剤で冷やすのも一つの方法です。

注射した部位が出血した場合はどうしたらよいですか？

- ▶アルコール綿で押さえてください。
それでも出血が収まらない場合は、主治医に連絡してください。

注射した部位がかゆくなったり、腫れたりした場合はどうしたらよいですか？

- ▶ご自身の判断で塗り薬などを使用せずに、主治医に連絡して指示に従ってください。

注射した日に入浴してもよいですか？


- ▶入浴はできますが、注射直後の入浴は避けてください。
また、身体を洗うときは注射部位を強くこすらないでください。

薬液が目に入った場合はどうしたらよいですか？

- ▶目を水で洗い流して、様子を見てください。
目に何か症状が現れた場合は、主治医に連絡して指示に従ってください。

災害時や停電など冷蔵庫が使用できない場合に保管していたお薬を使用してもよいのでしょうか？
どのように保管したらよいのでしょうか？

- ▶そのような場合は、主治医に連絡してください。
または下記のフリーダイヤルにお問い合わせください。

 (0120)215-241

医療機関名

電話番号

主治医名

薬局名

電話番号

薬剤師名

エタネルセプトBS皮下注「日医工」の自己注射に関するお問合せは

 (0120)215-241